



地域医療連携室だより

Vol. 65

平成 26 年 11 月 1 日発行

発行元 大津市民病院地域医療連携室

住所 〒520-0804

滋賀県大津市本宮二丁目 9 番 9 号

TEL 077-526-8192

<http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp/>



大津市民病院附属看護専門学校のご紹介



平素より、大津市民病院附属看護専門学校の教育にご協力いただきありがとうございます。

看護専門学校は、昭和 28 年に准看護婦養成所として開校、昭和 48 年に看護婦養成所として 2 年課程の付属高等看護学院に変更、昭和 59 年 4 月から現在の 3 年課程の学校となり、今年 31 年目を迎えました。3 年課程に変更後 984 名の卒業生を送り出し、大津市民病院をはじめとした医療・福祉施設で活躍しています。

学校は大津市民病院から琵琶湖の方向に徒歩 10 分ほどの、石場町にあります。住宅に囲まれたところに四階建ての校舎が建っていて、3 学年で合計約 120 名の学生が看護師をめざして学習しています。学校長以下 11 名の看護職の教員と事務職 3 名

で、「看護師として必要な知識および技術を教授し、看護専門職として、社会に貢献できる人材を育成すること」を目的として教育をおこなっています。

看護師になるための学習の内容は、基礎科目・専門基礎科目・専門科目・統合科目の学科と臨地実習です。学科を担当する教員は、学校長以下教員と非常勤の教員として滋賀大学・京都府立医科大学の先生方と大津市民病院や近隣の病院の医師・看護師です。臨地実習は、大津市民病院を中心に臨床の現場で、看護の実際を体験する学習を行っています。

開設以来一貫して行ってきたのは「たくさん考える」教育です。看護は人間の誕生から死まで健康な人も病気の人も、全ての人々がより健康に幸せに人生を送れるように支えることです。そのためには、ひとりひとりの方を尊重するためにはどうすればよいのかをしっかりと考え、実践できるようになることが大切です。そこで本校では学習内容の柱として 3 年間、「生きるとは」「人間とは、看護とは」を考える「看護ゼミナール」に取り組んでいます。グループで討論を重ね、自分の考えを深めていくことでしっかりと考えることができる人になれます。「たくさん考える」ための土台となるのが知識と技術を確実に修得することです。このような力を備えることで、ひとりひとりの方のいたみを感じることができる豊かな人間性を備えた看護師になることをめざしています。学生は、ひとりひとりの方と共に歩みながら自分の課題に取り組み、理想の看護師に近づけるよう日々学習に取り組んでいます。

看護職の必要性が言われている現在、もっともっと看護職が増えるよう看護の魅力を社会に発信し続けていくことも看護専門学校の役割と考えております。今後ともよろしく願いいたします。



学校長 藤田さゆり



10月6日に第5回目「ヘルペスってどんな病気？」と題して、帯状疱疹の症状・治療・注意点を中心に話をさせていただきました。写真を交え、それぞれの発疹の違いについて説明させていただきました。「再発はするの？ 同じ場所に再発するの？」など質問をいただき高い関心を持っていただきました。

末廣 晃宏
(皮膚科診療部長)



10月21日に第6回目「認知症にならないヒケツ」と題し講義をさせていただきました。アルツハイマー型認知症や脳血管性認知症の説明と脳の働きについて話をさせていただきました。認知症予防には食事・運動・睡眠が大切だと知り、大変有益な講義だったと感想をいただきました。

山田 幸子
(認知症看護認定看護師)



大津市民病院 災害医療訓練を実施しました。

10月4日(土)9時から大津市民病院2階外来AB、CDフロアにおいて開催されました。

訓練は、国道1号線にて多数の交通車両を巻き込む大型地盤沈下発生。大津市内では多数の死傷者が発生し、大津市民病院へは救急患者や被害住民が殺到するという想定で行われました。災害時には医療の需要と供給のバランスが大きく崩れており、その時点の限られた医療資源を用いて、最大限の患者を救う事になります。日常の医療とは考え方を変えなければならないと改めて実感する訓練でした。



第1回在宅医療ユースの会 ◊ 10月18日(土)開催しました ◊

大津市医師会若手の先生と大津市民病院研修医で事例紹介をいただくとともに意見交換会を開催しました。

在宅の現場を教えていただくと共に、連携のあり方についても確認ができるなど大きな学びをえることができました。



滋賀県難病従事者研修会 を開催しました。

大津市民病院において「第1回・第2回滋賀県難病従事者研修会」を開催しました。「在宅でも簡単にできる難病患者のリハビリテーション」をテーマに、県立リハビリテーションセンター 澤井のどか先生に講義をしていただきました。実技も交えた講義で参加者の方からは「難病の方が日常生活の中で取り組めるリハビリを知る事ができて良かった」という感想を多数いただきました。



NST 勉強会

大津市民病院9階大会議室 17:30~19:00

※筆記用具・電卓をご持参ください。

開催日	テーマ	講師
11月27日(木)	「慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の栄養療法」	平 沼 修 (呼吸器内科診療部長)
12月25日(木)	「嚥下リハビリテーション」	生田 悦子 (理学療法士) 三上 明子 (言語聴覚士) 西 真由美 (摂食嚥下看護認定看護師)
	「濃厚流動食・嚥下訓練食」	山 崎 徹 (管理栄養士)